



食育・健康だより

トベラこども園

平成30年7月発行

日差しが強くなり、心弾む夏がやってきました。暑い中、毎日元気いっぱいに遊び子どもたちですが、体は意外と疲れています。お家ではゆったりと過ごせるように心がけたいですね。



～夏に流行る病気～ 子どもも大人も要注意!!

病名		主な症状	対処法
(咽頭結膜熱) プール熱		<ul style="list-style-type: none"> 白目が真っ赤に充血し、涙が出る。 まぶたの裏に小さなブツブツができる。 扁桃腺や警部のリンパ節が腫れて痛い。高熱を伴う。 	<ul style="list-style-type: none"> タオルの共有は避け、感染者の使ったタオルは熱湯消毒した後、洗濯する。 水分補給は十分に行い、口当たりの良い食べ物を与える。
ヘルパンギーナ		<ul style="list-style-type: none"> 39℃前後の高熱。 のどに小さな赤い水泡ができ、のどが痛む為、食欲が落ちる。 水分補給を嫌がり、脱水症状を起こすこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> のどの痛みが強い為、熱い物、冷たすぎる物、酸味のある物、塩味のきつい物、刺激の強い物は避ける。 痛みが激しい時は、嗜まずに飲み込める食べ物にする。 しっかりと水分補給を行う。
(流行性各結膜炎) はやり目		<ul style="list-style-type: none"> 目が充血し、目が開けられないほど腫れ、涙が出る。 まぶたの裏に小さなブツブツができる。 炎症が結膜だけでなく、角膜まで及ぶ。 耳前リンパ節が腫れて、発熱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目を触らないように注意し、せっけんでしっかりと手を洗う。 目に触れる物の共有は避け、感染者が触った物は、せっけんで洗ったり、消毒したりする。 症状がなくなるまで、登園禁止。

病名		主な症状	対処法
手足口病		<ul style="list-style-type: none"> 38℃前後の発熱。 手のひら、足底、足、背、指の間に、周囲が赤くて真ん中が白い楕円形で米粒大の水泡が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 薄味で口当たりの良い食べ物を与える。 食後はぬるめのお茶を飲ませて口の中をきれいにする。 しっかりと水分補給をする。
(伝染症 膿瘍 瘡 疹) とびひ		<ul style="list-style-type: none"> 湿疹や虫刺されの痕をかくことで、米粒大の透明な水泡ができ、膿を持ってかゆくなる。 水泡の膜が破れると、中の菌を含んだ液が飛び散り広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 爪を短くする。 感染者とタオルなどの共有はやめる。 幹部に触らないように包帯、絆創膏などで覆えば登園可能。
みずいぼ		<ul style="list-style-type: none"> 1~2mmのブツブツができる。(真ん中にへこみや硬くてつやはあり、皮膚と同じ色) しばらくすると、3~4mmになる。 わきの下、わき腹、足の付け根など、皮膚と皮膚がこすれ合う所によくでき、体中に広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 放っておくと体中に広がるので、一つでも水いぼを見ついたら、医師の診断を受ける。 タオルの共有はしない。
頭じらみ		<ul style="list-style-type: none"> 頭じらみの寄生による、頭部の激しいかゆみ、不快感を伴う。 頭髪が触ることで感染する。 <p>☆もし感染してしまったら、専用の薬とくしを使って対応して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クシやブラシ、タオルや帽子などを他の人と共有を避ける。 日頃からお子さんの頭をマメにチェックし、シラミに感染していないか確認してあげて下さい。シラミに早く気が付いて、早く対応することで感染拡大を防ぐことができます。

プール遊びチェックリスト

- 37.5℃以上の熱はありませんか？
- 食欲はありますか？
- 前日よく眠れましたか？
- 目やにや充血はありませんか？
- 咳、鼻水は出ていますか？
- 皮膚に異常はありませんか？

